

総務部長の仕事宣言！

総務部長 野田 寿

①リープロの名称	市民に信頼される市役所づくりプロジェクト
②目標値	自主防災訓練回数 24回／年 職員研修受講者数 1,000人 実質公債費比率 現状維持（平成26年度 11.5%）
③今年度の取組方針	①業務継続計画の庁内共有化を図るとともに、災害発生時の各種マニュアルの整備を行います。また地区単位での防災訓練も実施していきます。 ②職員研修プログラムに沿って内部、外部研修を含め、職階に応じた研修を実施していきます。 ③将来の歳入歳出及び地方債管理の見通しを立てながら、新規、既存事業の費用対効果、必要性の検証を行っていきます。
④今年度の取組結果	①業務継続計画は3月末に各課へ周知を図ります。各種マニュアルは「避難所運営の指針」の策定、「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」の見直しを実施しました。 ②職員研修プログラムに沿って、71件の内部、外部研修を実施しました。また、法令順守意識向上のためコンプライアンス研修等を実施しました。 ③財政運営について、将来の見通しを立て、予算編成に当たりました。
⑤数値目標の結果	自主防災訓練回数 22回／年 職員研修受講者数 1,439人（見込値） 実質公債費比率 6.3%（平成29年度）
⑥成果と課題（次年度に向けて）	①防災関係マニュアルの整備を引き続き行います。自主防災訓練は、自主防災組織を中心に町区に実施を促していきます。 ②職員研修は、効果的なメニューを検討していきます。 ③財政運営は、将来負担となる各事業費の精度を高め、見通しを立て、維持可能な財政運営に努めます。

◇副市長の指示

- ・防災関係マニュアルの整備に取り組むとともに、策定済みの業務継続計画等を踏まえながら、職員の危機管理に対する意識醸成を図ること。
- ・コンプライアンスの徹底を図るための職員研修、組織内の情報共有及びチェック機能の強化にさらに務めること。
- ・大型事業及び公共施設の長寿命化が計画されている中で、各種事業における財源とその必要性・緊急性を踏まえながら、健全で持続可能な財政運営に努めていくこと。